

「出合いを楽しもう！」

会長 高山 訓正



THE WEEKLY REPORT

2011~2012

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

TAKIKAWA ROTARY CLUB

本日は 第2759回 例会
プログラム
第5の奉仕・新世代
No. 2598 3月1日(木)

次週以降の予定

3月8日(木) モンゴルと私と日本
3月15日(木) ファイターズの活躍と滝川応援団の活動
3月22日(木) 温泉四方山話

第2758回 例会報告

2012年 2月23日(木)

会長挨拶・報告



滝川市の2月22日降雪量は787cmで前年467cm、積雪量は104cmで前年74cmです。

先週行われた社会奉仕委員会後援の紙袋ランタンフェスティバルたきかわには、坂本委員長はじめ出席して頂いた会員に御礼申し上げます。寒さ一段と厳しい夜でしたが副会長・幹事にはランタンを作成してロータリーをPRして来ました。

ロータリーニュースで掲載されておりますが、米国イリノイ州、エバンストン発(2012年1月13日)最近までポリオウィルスの温床となっていたインドでは、1年間ポリオの新たな感染が一件も報告されておらず、世界ポリオ撲滅活動を展開してきた全世界のロータリー会員は、油断を許さぬ状況に慎重さを保ちながらも、この快挙に喜びの声を挙げています。インドでのポリオ症例が最後に記録されてから、1月13日でちょうど1年となります。27年前、世界からポリオを撲滅するという目標を掲げて以来、人道的奉仕団体であるロータリーの全世界の会員約120万人、特に11万6千人を上回るインドのロータリー会員は、撲滅への強い決意の下、子供達への全国一斉予防接種など、懸命な撲滅活動を行ってきました。全世界ではまだまだありますこれからも皆様のご協力をお願いします。

会長報告

第17回国際ロータリー日本青少年交流会札幌会議が2012年4月28日(土)4月29日(日)に札幌パークホテルにて開催されます。竹田行宏会員が所属します。全日本写真連盟滝川支部の写真展が江部乙道の駅におきまして3月1日より15日まで出展予定で御座います。

幹事報告



1. 芦別・赤平RCより3月のプログラムが届いています。
2. 来週3月1日は、第15回定例理事会が開催されます。5月に担当例会をお持ちの各委員長さんは、事業実施計画書の提出を28日までお願いします。
3. 地区大震災救援奉仕プロジェクト委員会で集めていました。支援ストラップは本日完売しました。皆様のご協力有難う御座います。

会員情報



川原 幸嗣 次年度幹事
第3回理事会開催のご案内です。
3月7日(水)午後6時30分からスエヒロ3階のプレスコで開催します。

御礼挨拶



第2510地区ガバナー補佐
滝 勝美様(芦別RC)
先日の2月10日雪の中で芦別駅から7キロ奥の芦別スターライトホテルで開催した都市連合会に多くの登録とご参加を頂き誠にありがとうございました。

先週のプログラム

☆出席委員会担当例会☆

ゲスト卓話



出席委員会 佐伯 敏和 委員長
本日の卓話ですが、佐藤佳朗会員・池田治男会員には大変お世話になりました。演題ですが、構造不況下における企業業績傾向で、2名の講師をお招きしています。中小企業における企業は現在どんな傾向にあるかお話を頂きます。講師の経歴は、伊藤貢作様で昭和46年の40歳で、現在は北門信用金庫の営業第一本部 地域総合相談室 経営アドバイザーをされております。小野寺賢司様で昭和47年の39歳で現在は同じく営業第一本部 地域総合相談室 経営アドバイザーをされております。



挨拶 池田 治男 会員
佐伯委員長より金融関係のお話を依頼されましたが、当金庫の地域総合相談室の経営アドバイザーからのお話が良いのではないかと考えて紹介させて頂きました。数年前から金融庁より各金融機関に対して取引企業先に対するコンサルティング機能の一層の機能発揮が要請されてきて、当金庫も平成20年より本格的に専門部門をスタートさせて現在4名の中小企業診断士資格者を中心に取り組んでいます。本日の卓話を聞いて

て頂き会社経営の一助となって頂ければと思います。

「構造不況下における 企業業績傾向」

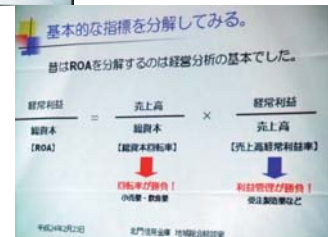
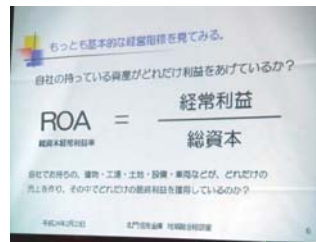


伊藤 貢作様(左)
小野寺賢司様(右)
(北門信用金庫
営業第一本部
地域総合相談室
経営アドバイザー)

私は、長い間「お金を金融機関から借りる側」にいました。しかも長引く不況下の中、競争激化や市場環境の激変に、地域企業はもまれにもまれ資金調達にも随分と苦闘しました。建設業や物流業、小売業での幾らかの経験と、中小企業診断士として様々な業種に携わる機会を頂いてる中で、ひとつの疑問をいつも抱いていました。金融機関は、簡単に言えば「庭の芝色を定める」のが仕事と言えます。「企業側、金融側両面から見た共通の接点」という答えを探してみようという意識で様々なデータと見るようになりました。思考途上ではありますが、入り口のひとつとして今回ご紹介させて頂いた「データのバラつき度合い」に着目しております。自社の決算書だけ並べると、売上や利益の上下動は当然わかります。そして主な原因は企業様が一番把握していると思います。しかしその「妥当性」はどうでしょうか？例えば売上が下がっていること、利益がある割合で取れていることが妥当なことなのか、判断は重要だと考えます。極めて巨視的な視野で見ると企業の総資産が創出する売上高の平均は、赤字企業・黒字企業の隔てなくバラつきがありません。反面、売上が創出する利益額については、年々広がりを見せています。個別的にはもう少し掘り下げて考えなくてはなりません、巨視的にこういう傾向にあるにも関わらず、「震災の影響で売上が減りました」「今年度は売上確保に努力して下さい」という対話に終始している部分も消してないと言いきれないと思います。「売上に占める経営利益の割合にバラつきが大きい。」という傾向は年々大きくなりますが、「今度は経営利益をどうやって作っているのか」に目を向けますと労働生産性や設備生産性のデータのバラつきが非常に目立ちます。指標にしている数値が相対的なモノですから「人的リストラどんどん進めているからではないか」と取られる方がいても不思議ではありません。そこで、もう少し掘り下げますと、巨視的には良好な方にバラついている企業群のデータは総じて直近決算も黒字で自己資本比率も高い傾向があります。つまりは「連続して黒字を続けている企業」と推定できると思います。人的リストラや返済の為にだけに資産を安売りするだけで企業が連続して何年も黒字を維持できないのは、

我々以上に経営者の方が肌で感じてると思っています。

最後に今回の話には大事な落ちがあります。私は金融機関という豊富な情報に恵まれた環境で企業診断の「妥当性」を懸命に探求し、なんだか世紀の大発見をした気分でした。しかしこのクロス指標は金融機関が企業を診断する代表的なテーブルのひとつになっていたということです。今夏は限られた時間で、あまりお役にたてる情報が発信できなかったと思います。北門信金地域総合相談室は、皆様方の経営支援を初めとしまして、個別のオーダーメイド的なコンサル機能の充実に努めております。どんな些細なことでもかまいませんのでご用命頂きますことを切望しております。



ニコニコBOX

高山 訓正会員

2月例会、無事終えて。

池田 治男会員

当金庫の地域総合相談室の講話をさせて頂きまして。

岡部 正幸会員

たきかわ冬まつり無事終えて。

佐伯 敏和会員

担当例会を終えて。また、池田会員・佐藤佳朗会員に感謝です。

会長／高山 訓正

幹事／宮崎 英彰

編集／クラブ会報委員会

電子メール info@rotary.gr.jp

ホームページ http://www.rotary.gr.jp/

例会日●毎週木曜日 PM0:30

例会場●ホテルスエヒロ

事務局●ホテルスエヒロ 7F

〒073-0032 滝川市明神町2丁目2-16

TEL(0125)22-3344

FAX(0125)24-2755



クラブ会報は再生紙を使用しています。